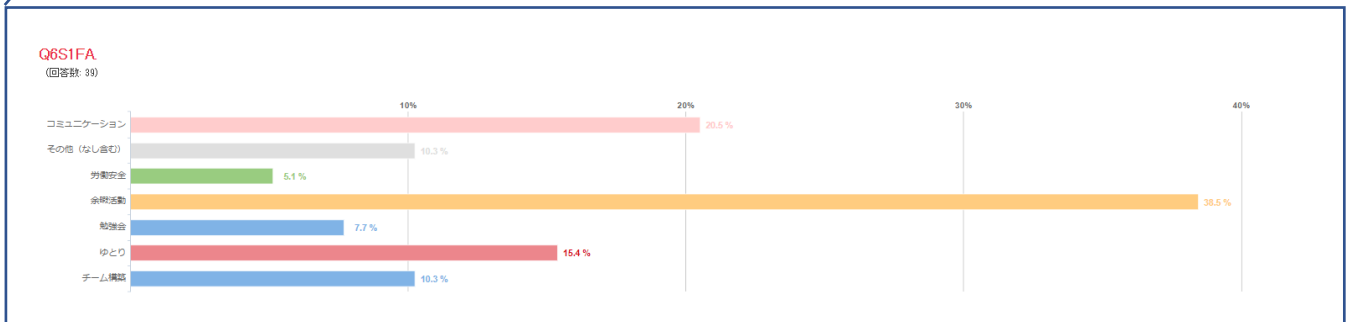


2018年10月 Questant 201810 職員アンケート結果に対する感想（順不同）



・介護福祉士

Q6 余暇活動の時間は、責任者側があらかじめ設定しなければやらないという状況を自分たちで作っているようにも感じます。なぜなら通常と同じ人員配置でも「正式なイベント」となると時間を作ることが出来ているからです。また、普段は話す時間がないというのは、どのような真意でそう感じているのか、もっと考えて、話し合っていかなければなりません。福祉機器導入に関しては、想像していたよりも前向きにとらえているという事が発見になりました。そこから、なぜ新しい機器を取り入れていきたいのかを探っていきたいです。

・機能訓練指導員

福祉機器の導入に積極的な意見は多くありましたが“新しいもの(文化)”を業務に浸透させていくことが課題です。全体の共通意識を持ち、新しいことにビビらず挑戦し、継続できる環境を作っていきたいです。

・栄養士

自宅でスライディングシートを使用していたことがありました。アンケート結果を見て思ったより伸びが少ないように感じましたが、自身もチェックに入れていないことに気づきました。今思えばいろいろな使い方があるのに1つの方法しか知らないことが要因としてあるように思います。熟知して使いこなすには、経験と技、機能を知りつくすことが大事だと改めて振り返ることができました。

・介護支援専門員

福祉機器を導入することにより介護する側、される側の負担は軽減されるのがアンケートよりわかりました。空いた時間を利用者・家族が望む生活に近づけてもらいたいです。

・機能訓練指導員

レクリエーションやコミュニケーションしたいという意見が多く見受けられましたので、皆さんご利用者とのふれあいが欲しいことを実感しました。

・介護福祉士

福祉機器・介護ロボットのニュースで職員から実用性がない・手作業の方が早いといった意見があり福祉機器に対する意識が低いという記事を読んだことがあります。アンケート結果から8割の職員が新しい技術・モノを積極的に取り入れたいという考えであることは、福祉機器を使用することによって安全性や負担軽減など導入効果を理解していると感じました。これいいなと思うモノに関しては床走行リフト・スライディングシートの数値が低かったのがなぜ低かったのか要因を追及して運用方法を改善していきたいです。

・介護福祉士

福祉業界の人たちは新しいことに挑戦することをなかなかやらないと聞いたことがあります。しかし、私達は福祉機器などの新しい技術・モノを積極的に取り入れたいという人たちが約8割との結果から、今やっている新規福祉機器の導入、オペレーション改革などが浸透しやすい状況だといえます。

また、「これはいいな」の質問については、床走行リフトとスライディングシートが低いのが気になります。最後の問い(Q6)は、今後オペレーションを考えるにあたり、参考にします。

・栄養士

新しい技術やモノを積極的に取り入れたいという職員が8割近くいます。海光園は介護に前向きな職場であることを改めて実感しました。新しいモノを取り入れるのは時間や労力などもかかりますが、他施設にはない海光園の良いところをこれからも伸ばしていきたいと思います。

・介護支援専門員

「レクリエーション」のみの適当に入れました的な回答と「特に無し」を除いてみると、ゆとりが最も多く、作業に追われている印象があります。「事前準備や外出など時間をかけて質を上げたい」と読み取れました。福祉機器だけでなく、クッションの当て方一つにしてもいろいろな使い方がありますので、ミニ勉強会で小技を披露していきたいです。そこから既存の考え方がいい意味で壊せればとも思っています。

・生活相談員

10年以上のキャリア組などが、肯定的に取り入れる事を受け入れているというのは、他事業所からみると大変興味深い事だと思います。人材育成の道でも、他事業所のモデルとなれるよう日々の積み重ねを地道にしていくことが重要だと考えます。

・介護福祉士

時代が進むにつれ、人に替わり多くの作業をAIが担うことになるとニュースや本などで度々目にします。介護業界も例外ではなく、皆さまが言うように導入する意味や福祉機器の出来る部分と出来ない部分の住み分けも大切ですし、そのような状況になった場合に人にしか出来ないことを特化しなければならないと思います。勉強や運用を理解し取り組んで参ります。

・介護福祉士

福祉ロボの需要度は、年々上がってきていると感じています。人の手が少ないであれば、福祉機器・ロボの出来る所を任せ、利用者・職員の負担軽減が出来るハード面での期待値は高いと感じています。使い手が、しっかりと一人・一人“何故この機器を使用するのか”の意義を落とし込む役割が重要であると考えます。

・介護福祉士

福祉機器の導入は積極的に入れたいという意見が多くありましたが、まだまだ使いこなせていないため、良さをもっと理解し、勉強し、運用の実績を作っていくたいです。

・生活相談員

デイサービスは福祉機器に対する意識が特養と比べて若干低いです。しかし福祉機器の活用していくことへの認識は高まっていると実感しました。移乗時の改善やモノに変えられるものを割り出し、展開していきたいです。その為には、勉強会を実施し運用方法を明確にしていかなければなりません。利用者との会話の時間を積み重ねることとその中で得たことを実現化するよう努力し、海光園の発展に繋がられる環境を作っていきたいと思います。

・機能訓練指導員

福祉機器に対する職員の意識が見えました。今後、更に機器が増えていく中で新しい機器現在使用している機器を全職員が機器の良さや展望を理解できるよう日々の運用やトレーニング、勉強会を行って参ります。

・事務局

福祉機器を積極的に活用したいと思っている職員が80%いることで施設の方針と同じ方向をむいていると実感しました。福祉機器はそれなりに良いモノではありますが、実際に使う人たちの創意工夫があってこそ活かされるものだと思います。そういったひとつひとつの実績を積み重ね事例にしていく。それを作り手にフィールドバックしていくことが重要だと思います。私たちが取り組んでいることは、前例がないことなので苦しく険しい道のりかもしれませんが、介護業界全体の未来のために乗り越えていきたいと思っています。

・生活相談員

アンケート結果を見る限り、福祉機器を取り入れたいという回答が多かったのですが、しっかり運用できるように皆が“積極的に運用しようという”という雰囲気もうひといき欲しいと感じています。